

令和6年度田辺地域災害医療訓練を実施します！

本訓練は、南海トラフ地震などの大規模災害に対応すべく、発災後の災害医療体制の構築を目的に、平成24年度から、医療及び保健分野の関係者が参加して実施しているところです。今年度は能登半島地震の経験を踏まえ、保健・医療・福祉の連携が重要であることから、田辺地域保健医療福祉調整本部を中心とした関係機関との連携体制構築のための災害医療訓練を5年ぶりに実施します。

- 【主催】 田辺地方医療対策協議会
【日時】 令和7（2025）年1月26日（日）9:00～12:30（8:30受付開始）
【場所】 西牟婁総合庁舎（田辺市朝日ヶ丘23-1）
【想定】 東海・東南海・南海3連動地震 発災8日目
【方法】 机上情報伝達訓練（ロールプレイング方式）
【参加機関】 31機関（約140名）

病院：紀南病院、南和歌山医療センター、白浜はまゆう病院、国保すさみ病院、田辺中央病院、玉置病院、白浜小南病院、紀南こころの医療センター、南紀医療福祉センター

医療関係団体：田辺市医師会、西牟婁郡医師会、日高医師会みなべ地区、田辺西牟婁歯科医師会、田辺薬剤師会、紀南地区災害時透析患者支援ネットワーク、DMAT（災害派遣医療チーム）、DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）、JRAT（災害リハビリテーション支援協会）、田辺圏域医療と介護の連携を進める会

企業：（株）スズケン

消防：田辺市消防本部、白浜町消防本部、日高広域消防事務組合消防本部

行政：田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町、和歌山県福祉保健部健康局
医務課、西牟婁振興局（地域づくり部・健康福祉部）

- ◎ 取材については、以下の点にご留意いただけますようお願いいたします。
- ・当日は、8時30分～9時00分の間に受付（西牟婁総合庁舎大会議室）をお願いいたします。
 - ・9時以降に会場される場合は、事前に田辺保健所担当者へご連絡をお願いいたします。
 - ・取材にお越しいただく際には、報道関係者とわかる腕章等の装着をお願いいたします。

（連絡先）

西牟婁振興局 健康福祉部 保健課
担当：和田、大原
電話：0739-26-7933

【参 考】

○田辺地方医療対策協議会

田辺保健所管内市町における医療体制に関する円滑な運営を目的に、昭和 58（1983）年に設立された協議会で、田辺保健所管内市町の行政機関、医療機関、医療関係団体並びに消防機関の代表者によって組織されています。

○田辺地域保健医療福祉調整本部

災害医療コーディネーター・保健所・DMAT・DHEAT・福祉関係者などから構成され、保健医療活動チームの派遣調整、保健医療福祉活動に関する情報連携、保健医療福祉活動に係る情報の整理及び分析等の保健医療福祉活動の総合調整を行う組織

○災害派遣医療チーム（DMAT：ディーマット）

医師、看護師、救急救命士などの医療関係者と事務員等で構成され、地域の救急医療体制では対応出来ないほどの大規模災害や事故などの現場に急行する医療チームのこと。

○災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT：ディーヒート）

行政機関の公衆衛生分野の専門職及び業務調整員で構成され、被災都道府県庁の保健医療福祉調整本部及び保健所において指揮調整機能を支援するチームのこと。

○日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT：ジェイラット）

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・ケアマネジャー等の医療福祉関連職から構成され、避難所等において、災害に関連した身体機能、生活能力の低下予防のため、高齢者や体に不自由のある方の健康的な生活と活動をサポートする団体。

○机上情報伝達訓練（ロールプレイング方式）

現実にかかる場面を想定して、複数の人がそれぞれ役を演じ、疑似体験を通じて、ある事柄が実際に起こった時に適切に対応できることを目的とした学習方法の一つであり、状況の付与を行うコントローラーと実際に演習を行うプレイヤーとに分かれて実施します。

本訓練でのコントローラーは、それぞれの機関ごとに設置され、時間管理と状況付与カードの投入、処理や対応状況をチェックします。プレイヤーは、出された状況付与に対して、関係機関と連携しながら、対応方法を協議します。

○これまでの訓練実施状況について

実施年度	開催場所	訓練想定（発災からの経過日数）	参加機関数	参加人数
平成 24（2012）年度	南和歌山医療センター	2 日目	23 機関	90 名
平成 25（2013）年度	南和歌山医療センター	3 日目から 1 週間程度	21 機関	80 名
平成 26（2014）年度	紀南病院	4 日目	22 機関	100 名
平成 27（2015）年度	南和歌山医療センター	4 日目	27 機関	110 名
平成 28（2016）年度	西牟婁振興局	4 日目	27 機関	100 名
平成 29（2017）年度	紀南病院	2 日目	28 機関	120 名
平成 30（2018）年度	南和歌山医療センター	4 日目	27 機関	120 名
令和元（2019）年度	南和歌山医療センター	3 日目	26 機関	130 名